

※フードマイレージ
食料の輸送距離という意味で、重量(トン)×距離(キロメートル)であらわされている。食品の生産地と消費地が近ければフードマイレージは小さくなり、遠くから運んでくると大きくなる。日本のフードマイレージは、韓国(世界2位)の約3倍もあり、世界中で群を抜いて大きい。

実践しています！

－ わが家の温暖化対策 －

フードマイレージを考えた食生活



いとうやすこ
伊藤泰子 さん
(曾根町)

フードマイレージ*のことを考え、食材には気をつけています。海外から輸入されたものではなく、できるだけ日本産、できれば滋賀県産にこだわって購入しています。そのほか、ゴミを分別するだけでなく、トイレトーパーやティッシュは再生紙使用のものを使っていますし、我が家では原則シャワーを禁止にして水の流しっぱなしはしないようにしています。あまり無理をせずに、気楽にずっと続けられるようなことから始めています。

水の有難さを忘れないために



ほった りょうたろう
堀田良太郎 さん
(細江町)

水の有難さを忘れないために、雨水を溜めて植木にやっています。お米のとき汁もそのまま流してしまわないで、バケツにとって同じように植木にやっていますし、油物などを洗うときは、一度ボロ切れでお皿を拭いてから洗剤で洗うように心掛けています。そのほか、家内の電球を白熱灯から蛍光灯にかえたり、電気ポットの使用をやめたりして、電気の消費を少なくしています。いっぺんに大きなことをやるのは無理。できることからこつこつとやるようにしています。

その⑥ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のため市販されているポンプを使うと便利です。



年間約7kgのCO₂の削減
1年間で約4,200円の節約

その⑦ ジャーなどの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なくなります。



年間約34kgのCO₂の削減
1年間で約1,900円の節約

その⑧ 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要となります。



年間約238kgのCO₂の削減
1年間で約10,400円の節約

その⑨ 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになります。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。



年間約58kgのCO₂の削減

その⑩ テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけ選んで見るようにしましょう。



年間約14kgのCO₂の削減
1年間で約800円の節約

①から⑩のことを実践することで

年間**約736kg**のCO₂が削減でき、

さらに、**約40,700円**節約できます！

※数値は、大人2人、子ども1人の3人家族が実践した場合で試算されたものです。

家庭でできる温暖化対策

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

その① 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して過ごしましょう。



年間約33kgのCO₂の削減
1年間で約1,800円の節約

その② 週2日往復8kmの車の運転をやめる

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。



年間約184kgのCO₂の削減
1年間で約9,200円の節約

その③ 1日5分間のアイドリングストップを行う

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。



年間約39kgのCO₂の削減
1年間で約1,900円の節約

その④ 待機電力を50%削減する

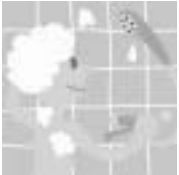
主電源を切りましょう。長期間使わないときはコンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い換えの際には待機電力の少ない物を選ぶようにしましょう。



年間約60kgのCO₂の削減
1年間で約3,400円の節約

その⑤ シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。



年間約69kgのCO₂の削減
1年間で約7,100円の節約

滋賀県地球温暖化
防止活動推進員
みやがわことえ
宮川琴枝 さん
(南小足町)

地球温暖化をこれ以上進めないために、わたしたちにできることはたくさんあります。わたしたち推進委員が、まず最初に紹介してるのは、家庭でできるCO₂の削減方法です。左の図のように家電製品の使い方、生活習慣の改善など、生活のいたるところでのちょっとした工夫が、CO₂の排出削減につながります。これは地球にやさしいだけではなく、わたしたちの家計にもうれしい効果を与えてくれます。

地球温暖化の原因は、CO₂の増加ばかりではありません。例えば、冷蔵庫やクーラーなどに使われているフロンガスおよび代替フロン類は、温室効果の影響度がCO₂の数千から数万倍と言われています。これらを処分するときは、専門の業者さんなどに回収していただくことで排出を防ぐことができます。

見落としがちなのが、わたしたちの食べているもの。その多くは、海外から輸入されていて、店頭に並ぶまでに、輸送などで多くのCO₂が排出されています。日本で作られたものばかりを選んで食べることはなかなかできませんが、せめて余分なものを買わない、食べ残さないということに気をつけたいものです。

見落としがちなのが、わたしたちの食べているもの。その多くは、海外から輸入されていて、店頭に並ぶまでに、輸送などで多くのCO₂が排出されています。日本で作られたものばかりを選んで食べることはなかなかできませんが、せめて余分なものを買わない、食べ残さないということに気をつけたいものです。



▲びわ公民館で開催(7/12)された宮川さんら推進員さんによる出前講座で、スーパーで売られている食品が、どこから輸入されているかを調べる子どもたち
※湖北地域では、15人の方が地球温暖化防止活動推進員として、出前講座などで活躍されています。

市の取り組み

市では、地球温暖化防止について考えていただくきっかけづくりや、実際にご家庭で役立つことなど環境に関する様々な取り組みを行っています。

■環境家計簿

ご家庭の電気、ガス、水道などの使用量から、排出されるCO₂の量を自動で計算します。CO₂の排出量を削減し、光熱費の節約にも役立てることができる優れたものです。

【配布】環境保全課、各支所窓口、市ホームページ

■長浜環境塾

今年のテーマは「エコライフ知ろう！わかってうーやってみよう！」。地球温暖化問題の現状としくみ、家庭でできるエコライフについて、親子で楽しく学んでもらえる講座です。

【とき】8月10日・11月9日(全2回)※参加無料、先着30組、受講生募集

■レジ袋キャンペーン

市内の協力店で買い物した際に、レジ袋を断ることに応募シールを1枚もらい、それを10枚集めて応募すると、抽選で景品が当たるキャンペーンです。

【期間】10月1日～11月30日

■生ごみ減量化推進事業

生ごみ処理機の購入費用の半分(上限3万円)を助成しています。

市では、地球温暖化防止など、良好な環境づくりを進めていくための目標、基本姿勢、具体的な取り組みを示した「環境基本計画」を策定(平成13年)しています。

しかし、近年、わたしたちの生活環境が大きく変化していることから、現状にあった、今後の長浜市にふさわしい良好な環境づくりを進めるために、本年度その計画の見直しを行います。今後、市民代表者や学識経験者などで構成される策定委員会を設立し、計画(案)を作成していきます。計画(案)ができた段階で、パブリックコメントを実施しますので、みなさんのご意見をお聞かせください。

お問合せは、環境保全課 ☎6513へ。